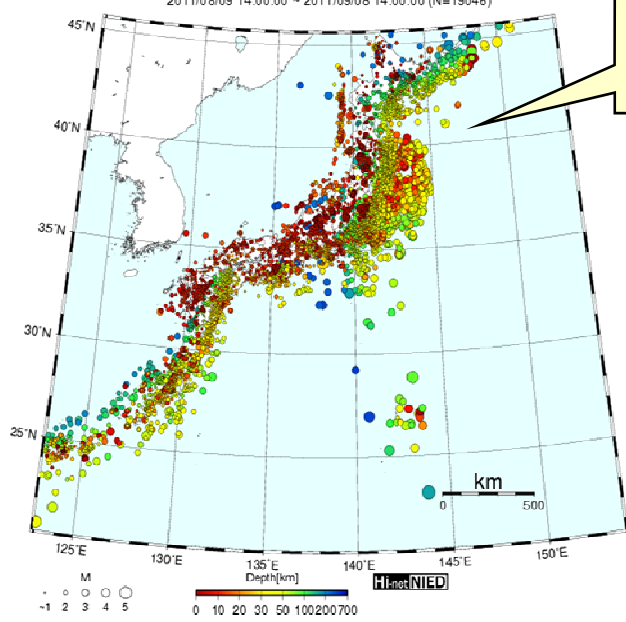


坂本の人口 12,836人(男:6,345人 女:6,491人) 世帯数4,462 【平成23年 8月末現在】
 12,837人(男:6,334人 女:6,503人) 世帯数4,453 【平成23年 7月末現在】

2011/08/09 14:00:00 - 2011/09/08 14:00:00 (N=19046)



日本列島 ちょっとヤバイと思いませんか?

左の図は防災科学研究所が発表している震源情報を8月9日から9月8日までの一ヶ月間のデータを重ね合わせたものです。円は大きいほどマグニチュードが高く、色は赤いほど震源が浅いことを示しています。日本列島がたった一ヶ月でほとんど塗りつぶされています。3月の東日本大震災、7月、9月の記録的な豪雨による土砂災害など、日本列島はあらためて、地震大国であり、そして地球温暖化等の影響で全国どこでも集中豪雨が発生してもおかしくない国になっていると思います。地震、津波、台風、洪水などの自然災害は待たないです。少しでも災害被害を軽減するよう、みんなで力を合わせてふだんからの備えが大事です。災害による被害をできるだけ小さくする取り組み・・・それが**“減災”**の取り組みです。今すぐできる7つの備えを紹介します。その①**災害被害を少なくする「自助」「共助」**行政による**「公助」**は言うまでもありませんが

自分の身は自分で守る**「自助」**地域や身近にいる人同士が助け合う**「共助」**こそが災害による被害を少なくするための大きな力となります。その②**あなたのお宅やご近所は安全ですか?**防災マップは自然災害が発生した場合の被害の様子や避難・救援活動に必要な情報が掲載されている地図です。家族みんなで確認しましょう。その③**あなたのお宅は地震に耐えられますか?**建物の耐震診断を受け、その結果に応じた補強を行いましょう。その④**地震から**

命を守るため**お部屋の総点検**を「生き残ってから」のことよりも、「生きるため/死なないための努力」を先に行いましょう。その⑤**日ごろから準備しておきたいもの**「あれば便利なもの」より先に「無ければ困るもの」を常にまとめて身近においておきましょう。その⑥**家族みんなで防災会議**万一被災した場合には自分の身の安全を真っ先に家族や知人に知らせることが大切です。その⑦**ふだんからの地域のつながりが大切です**大規模災害時の救助や非難などにはふだんの近所付き合いが力を発揮します。8月21日の自主防災リーダー研修会、8月28日の中津川市総合防災訓練に参加された皆さん、暑い中大変お疲れ様でした。格言をひとつ**「政府、自治体、そして国民も被害に対する平坦戦略を備えておく必要があります。次に何をするか考えておかないといけません。災害ストラテジー【戦略】が国民の常識となることが大切です。」**(「日本沈没」の著者小松左京さんのことばから)



初期消火訓練



土嚢訓練



リーダー研修・三角巾



リーダー研修・AED



バケツリレー



図上訓練



リーダー研修・心肺蘇生



節電 できることから始めよう!

坂本事務所リサイクルボックス

リサイクルボックスに
持ち込み可能な資源

- ・新聞紙・ダンボール・雑誌
- ・トレイ
- ・発泡スチロール
- ・雑紙（紙袋かレジ袋に入れてください）

※布類は持ち込みできません。
※資源ごみなどは指定日に
持ち込んでください。

午前8時30分～午後5時15分

10月	行事名	会場等
1日（土）	坂本保育園運動会	坂本保育園
2日（日）	八幡神社例大祭	八幡神社
6日（木）	なかよしひろば	坂本保育園
8日（土）	坂本幼稚園運動会	坂本幼稚園
9日（日）	諏訪神社例大祭	諏訪神社
13日（木）	資源ごみの日（千旦林）	
16日（日）	第40回坂本区民運動会	坂小グラウンド
19日（水）	資源ごみの日（茄子川）	
21日（金）	ちびっこ幼稚園	坂本幼稚園
24日（月）	不燃ごみの日（千旦林）	
27日（木）	なかよしひろば	坂本保育園
31日（月）	不燃ごみの日（茄子川）	



8月30日に坂本事務所で開催された坂本老人クラブ連合会（河尻欣一会長）と大山市長の懇談会が実施されました。花の木老人クラブの小木曾光春会長さんが代表してクラブの活動内容の報告をし、市長の高齢者行政に対する考え方を質しました。その後、高砂会の黒柳秀夫会長さんが高齢者の運転事故が多発していることから、コミュニティバスの導入計画は無いかと質問しました。他の参加者からもタクシーチケットの割引制度を導入したらどうかなどの質問が出ました。市長は阿木地区の福祉村の例を引用して回答しました。高齢者の交通手段の問題は切実な課題です。早期に実現するために区民全員で考えていきたいものです。他にも自分たちが社会貢献で清掃活動している公園などに遊具を置けば子どもとの交流も図れるという提案が出されましたが、広場が有るところ無いところがあるので、市長は持ち帰って検討させていただくという回答となりました。最後は、河尻会長と市長が懇談会のまとめを行い終了しましたが、短い時間の中で非常に活発な意見交換ができました。

坂本老人クラブ連合会 市長と懇談会を開催しました



中津川工業高校で生徒が一日先生になって小中学生に太陽電池で動くロボットと木を使ってイスをつくるものづくり教室を開催しました。工業高校は坂本で唯一の高等学校なので坂本公民館もこの教室を応援しています。参加者のみなさんの感想を紹介します。「のこぎりと金づちだけで完成すると思っていましたが、ドリルやビス等を使用し普段使用することのできない道具を使った作業だった為、子供はとても喜んで作業することができました。少しわかりにくかった点は、両側の足を継ぐ時の直角の出し方が解りにくかったです。あとお昼休みに校内を見学させていただいたのですが、多くの生徒さんが元気に挨拶をしてくださりととても気持ちよかったです。（保護者）」子どもたちにもものづくりの楽しさが伝わり好評でした。がんばれ工業生！！

ロボットづくり



イスづくり：中学生



イスづくり：小学生



ちょっと難しかったけど とても楽しかったです!